

授業概要

科目名		装具実習Ⅱ			授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	75回	時間数	150時間	(4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
神経筋疾患に関連する装具の製作に必要な採型・採寸の基本的理論並びに方法及び適合の理論並びに実際について学ぶ。 また、神経筋疾患の病態の生体力学的根拠に基づく製作理論及び技術について学ぶ。									
〔授業全体の内容の概要〕									
実習：代表的な下肢装具について、各疾患を想定し製作・適合を行ない、製作・適合の技術について指導および評価を受ける。 (プラスチック短下肢装具，両側支柱付短下肢装具，両側支柱付長下肢装具) 講義：適応となる症状・障害やその原因疾患の概要及び装具療法の概要，装具の構成要素の基本知識，生体と装具の適合の基本知識及び装具装着時の歩行等について学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
各種の短下肢装具及び長下肢装具の製作を通して、その採型・採寸方法、製作方法、適合方法、装具の構造・機構及び適応症状等を理解できる。また、装具装着時の歩行を中心とした生体力学を理解できる。									
回数	講義内容								
1	座学 1 下肢装具の構成								
2	座学 2 正常歩行と片麻痺歩行の比較								
3	座学 3 床反力と関節モーメント								
4	座学 4 装具の矯正モーメント								
5	座学 5 短下肢装具の機能分類								
6	座学 6 装具なし歩行と装具歩行								
7	座学 7 異常歩行①								
8	座学 8 異常歩行②								
9	座学 9 長下肢装具と片麻痺の下肢装具①								
10	座学 1 0 長下肢装具と片麻痺の下肢装具②								
11	座学 1 1 脳卒中と急性期リハビリの重要性①								
12	座学 1 2 脳卒中と急性期リハビリの重要性②								
13	座学 1 3 対麻痺の長下肢装具①								
14	座学 1 4 対麻痺の長下肢装具②								
15	座学 1 5 膝関節の装具療法								
16	実習 1 プラスチックAFO：課題疾患の説明と担当課題の設定								
17	実習 2 アセスメント、採寸と採型								
18	実習 3 陰性モデル評価								
19	実習 4 モデル修正①								
20	実習 5 モデル修正②								
21	実習 6 モデル修正③ 設計								
22	実習 7 陽性モデル評価								
23	実習 8 モールディング①								
24	実習 9 モールディング②								
25	実習 1 0 モールディング③								
26	実習 1 1 トリミング①								
27	実習 1 2 トリミング②								

授業概要

科目名		装具実習Ⅱ				授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	75回	時間数	150時間	(4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年			必修・選択	必修
回数	講義内容									
28	実習13 足継手加工 組み立て									
29	実習14 仮合わせ適合①									
30	実習15 仮合わせ適合②									
31	実習16 仮合わせ後調整									
32	実習17 仕上げ									
33	実習18 両側支柱付き長下肢装具：課題疾患説明と担当課題の決定									
34	実習19 アセスメント、 トレース									
35	実習20 トレースの修正と設計									
36	実習21 あぶみ加工									
37	実習22 足継手加工									
38	実習23 支柱加工									
39	実習24 半月加工									
40	実習25 組み立て 同時進行でP-AFO評価									
41	実習26 巻き革作製									
42	実習27 靴の取り付け									
43	実習28 組み立て									
44	実習29 両側支柱付き短下肢装具の適合①									
45	実習30 両側支柱付き短下肢装具の適合②									
46	実習31 膝継手加工									
47	実習32 大腿半月加工①									
48	実習33 大腿半月加工②									
49	実習34 大腿部組み立て									
50	実習35 下腿の連結部加工									
51	実習36 大腿部巻き革作製①									
52	実習37 大腿部巻き革作製②									
53	実習38 膝当て作製									
54	実習39 組み立て									
55	実習40 靴取り付け									
56	実習41 両側支柱付き長下肢装具 仮合わせ適合①									
57	実習42 仮合わせ適合②									
58	実習43 仮合わせ後の調整①									
59	実習44 仮合わせ後の調整②									
60	実習45 仮合わせ後の調整③									
61	実習46 巻き革の仕上げ									

科目名		装具実習Ⅱ			授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	75回	時間数	150時間	(4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年		必修・選択	必修
回数	講義内容								
62	実習47 組み立て(銅鋳カシメ)								
63	実習48 組み立て (巻き革カシメ)								
64	実習49 組み立て (靴取り付け)								
65	実習50 完成試適合								
66	実習51 プレゼンテーション・評価①								
67	実習52 プレゼンテーション・評価②								
68	実習53 プレゼンテーション・評価③								
69	実習54 プレゼンテーション・評価④								
70	実習55 完成装具による試歩行								
71	実習56 適合理論のまとめ①								
72	実習57 適合理論のまとめ②								
73	実習58 長下肢装具の採型方法について①								
74	実習59 長下肢装具の採型方法について②								
75	実習60 総括								
	筆記試験 & 実技試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【実 習】 事前学習：動画配信＋テキストによる予習。 復習：ノート・課題レポート作製。

【座 学】 事前学習：テキスト＋配布資料による予習と要点プリント問題。 復習：プリントの復習。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
装具学 第4版	加倉井周一編	医歯薬出版
義肢装具学 第4版	川村次郎 ほか	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

実習課題＋小テスト・レポート課題・ノート提出＋終講試験により認定する。

*ただし実技試験、終講試験それぞれの点数が60%を満たさない場合は再試とする。

課題評価（終講試験、小テスト、レポートなど）により認定する。